



マクロ経済とグローバル経済

令和 7 年 9 月 12 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

低金利政策は国外への資産の流出を与え、国外資産は、その海外における物価基準とともに、その富を創出するものである。

これは日本の経済における現実であり、海外への依存が新たな現実として存在するものである。

これらは為替と物価における海外との大きな格差を形成するものであり、世界経済における日本経済の新たな現実は失われた 30 年における変化において全く異なるものである。

これら低金利政策は、企業における豊かな資本の保有を与えるものであり、これが今日の日本企業においては生命線である。

これらは国内資本の海外への流出が今日の日本経済の現実を与えるものであるという認識は正しいと考える。

これらがグローバリズムの受け入れを国内に与え、国内社会構造の転換を行うものであると考えられる。

今日の新たな社会トレンドは、経済における新たな未来の提案であるならば、これらはグローバリズムのもとで与えられる変化である。

経済の先端性は資本を集約し、その新たな拡大を与えるものである。これらがグローバル経済を牽引する今日の現実である。

生産性の向上は豊かさを生むものであるが、現実においてはその罪の独占において、格差を与えるものである。

これら新たな世界は 2 分化する現実を生み、新たなエリートたちの現実への憧憬が現実を行うものである。